

# 琉球大学学術リポジトリ

## 1960年1月の安保条約改定時の核持ち込みに関する 「密約」に係る調査の関連文書No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込み問題, 東郷次官, ホドソン米国大使 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43866">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43866</a>

109



## 鞍山、辽阳-十一了解、讨伐、摧毁

50·3·1

宋刻得樟譯文

1. 3月19日(月)午刻、安全導導薄澤義利、在京米大  
倅、錦 Petree 等率官以討之。明18日午後山乃定。

→ end → toolson 大使 → 會議 → 大使 → 大使  
所謂 transit 問題 → 為了方便之故有時

→ 未来の ambiguity と現じての政策を更  
々意図、答へ = → (二木と黒川)の言ふ如 49.12

25付叶统一见解。50.1.21付叶对摘漏管等  
9阅读卯命。11-12月对本稿修正(二)并

「43.4.25 9點解入之黑仔黑一員意」

向表明它要清工人的工资，所以内部分工的自动化。

GA

外務省

11. 聖公會加利耶治會、在九月、大典的禮堂才  
被賜正字之印下於十一月、便令、今夜請到之次、

会後追記：授取の回答を少しずつ加えて、得点は2  
倍不正確な勘定で、WとSと並んで、大体18.20

日以一時一席國才092、大臣9御烹酒正体以國務消息等聞得齊心重降勅諭加于、4月初从9

帰化後は、日本政府の監視下に在るが、その監視は、日本政府の監視である。

方9状况说谎。4月初少9国卷之w<sub>i</sub>=2018逢  
方卷之w<sub>i</sub>18和920可及的速+u=w<sub>i</sub>

得体の旨述べてやがれ。

2. Petrea 紫莖 18.更以大庚涼歸國于29.“

3

transit問題についての原則、感觸立派知り  
YKの輸出についての貿易交換手続の仕事

（考）YKが貿易の実務についての  
行動を理解するための参考資料と条件

解、確認問題、YK側内部処理上必要となる  
かの思付を真正化。当方との条件確認

問題、解決の原則によるtransit問題に関する  
行動方針を表明する要件について、趣旨を考慮

して、先方YK側如何か（fish）に及  
する意図を有する旨（該項旨意）。

Petree 18.更に審議10月9日非公式接触、12  
号大便銀、YK側の二正事前準備の

状況の如何理解する事、YKの工作  
は、如何に条件を統一する際の要領を必ずしも

GA-6

外務省

4

（考）YKの貿易問題についての原則、感觸立派知り  
YKの輸出についての貿易交換手續の仕事

かの「indication」を備え、YKの貿易手續  
の行動指針、内閣の審議の原則

意向を表明する際の要件について  
等。

GA-6

外務省